

＜資料提供＞
平成30年6月4日(月)
生活環境部自然環境課
(内線 4260 外線 225-1475)
いしかわ動物園
(外線 0761-51-8500)

いしかわ動物園におけるライチョウの受精卵の受入れについて

国のライチョウ保護増殖事業については、昨年度からライチョウ飼育施設（上野動物園など3施設）で人工繁殖を開始し、また、これまでの実績等を評価して、いしかわ動物園を含む2施設をライチョウ飼育施設に追加して取り組んできています。

このたび、いしかわ動物園で昨年に引き続き、受精卵を受け入れることが決定しました。

なお、当日は、いしかわ動物園での取材・撮影はできませんが、受精卵の受入れ結果については、別途資料提供を行いますので、ご了承願います。

※ライチョウ：国の特別天然記念物、国内希少野生動植物種

1 受入れの概要

- (1) 受 入 日 平成30年6月7日 ※午後到着予定
- (2) 受 入 数 受精卵 3卵
- (3) 移 動 元 富山市ファミリーパーク
- (4) 移送方法 富山市ファミリーパークにて受精卵3卵を、移送用の携帯ふ卵器に収容のうえ、いしかわ動物園まで車で移送

2 今後の予定

- ・受け入れた卵は、ふ卵器に収容し、ふ化作業に取り組めます。
- ・国の計画では、まずは、飼育・繁殖技術を確立させることが優先されているため、いしかわ動物園でも、ライチョウを直接お見せすることはできませんが、適宜、資料提供いたします。

<参考1> 国の取組みの概要

(1) ライチョウの種の保存の取組み

環境省が平成24年度に策定した「ライチョウ保護増殖事業計画」に基づいて、環境省と公益社団法人日本動物園水族館協会（以下、「日動水」）が連携した取組みが開始され、日動水が平成25年度に「ライチョウ域外保全プロジェクトチーム（以下、「PT」）」を設置。

※いしかわ動物園も当初からPTに参加し、ライチョウの種の保存の取組みに貢献してきました。

(2) ライチョウの飼育・繁殖の取組み

ライチョウの飼育・繁殖の取組みを開始することを目的に、環境省事業として、平成27・28年度の2カ年にわたり、乗鞍岳において野生下の22卵の採卵を行い、恩賜上野動物園、富山市ファミリーパーク、大町山岳博物館の3施設でふ化・飼育に取り組みました。

(3) 人工繁殖の開始

平成29年度から上記3施設での人工繁殖を開始し、産卵が順調に進んだことから、いしかわ動物園及び那須どうぶつ王国が新たにライチョウ飼育施設に選定され、受精卵を移動の上、ライチョウのふ化・飼育の取組みを開始しました。

(4) 平成29年度の結果

(2)の3施設で計60卵の産卵があり、うち22卵がふ化、現在、そのうちの12羽が成育しています。

いしかわ動物園では、昨年度4卵の受精卵を受け入れ、1卵がふ化、3卵が発育中止という結果となっています。なお、ふ化した1羽はその後死亡し、解剖・検査により死因を究明しましたが、死亡原因となる所見は見られませんでした。

<参考2> いしかわ動物園でのライチョウの種の保存への取組み

- (・H21年6月 白山で約70年ぶりにライチョウ（メス）を確認)
- ・H21年11月 第10回ライチョウ会議（東京）で、近縁亜種（スバルバルライチョウ）を使って飼育繁殖技術の確立に努めることが宣言されたことを契機に上野動物園から近縁亜種共同繁殖の要請
- ・H22年9月 ライチョウ飼育展示施設の着工
- ・H22年11月 上野動物園からスバルバルライチョウのオス2羽借受 飼育開始
- ・H23年4月 ライチョウ飼育展示施設「ライチョウの峰」のオープン 一般公開開始
- ・H24年6月 国内3園目となるスバルバルライチョウのヒナ誕生
- ・H25年7月 国内2園目となるスバルバルライチョウの自然繁殖に成功
※平成30年6月現在、スバルバルライチョウ13羽（オス7羽、メス6羽）を飼育中
- ・H29年6月 全国で4番目のライチョウ飼育施設に選定
ライチョウの受精卵2卵を受け入れ、1卵が発育中止、1卵がふ化（ふ化後4日齢で死亡）
- ・H29年7月 ライチョウの受精卵2卵を受け入れ、2卵とも発育中止